

家庭科学習指導略案

5年1組 30名 指導者 教諭 永田佳子
養護教諭 田中めぐみ

本授業は、以下の検証を行うものである。

- 学習したこと実生活で活用するための手立てとして、言語活動の取組や養護教諭とのチームティーチングは効果的であったか。

1 題材 くふうしてみよう「快適な住まい方を考えよう（暑さ、風通し）」

2 指導計画（総時数7時間）

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
つかむ・見通す	1 住まいの快適さについて話し合う。 【関：住まいに関心をもち、住まいの役割や快適な住まいについて考えようとしている。】	1
	2 夏と冬の場面から快適な住まい方について話し合い、共通の課題をもつ。 《養護教諭とのTT》 【関：季節の変化に合わせた住まい方に関心をもち、快適な住まいについて考えようとしている。】	1 (本時)
調べる・確かめる	3 夏を快適に過ごすための自分の課題を追求する。 【技：自分の課題を追求することができる。】 【創：季節の変化に合わせた住まい方を見直し、快適に住まう要素を考え、よりよい方法を工夫している。】	3
	4 調べたことを発表し、意見を交流する。 【知：暑さ、風通しなどを工夫した住まい方が分かる。】	1
生かすに	5 これまでの学習を振り返り、これからの生活に生かしたいことを話し合う。 【関：快適な住まい方について考え、実践しようとする。】	1

3 本時（2/7）

(1) 目標

季節の変化に合わせた住まい方に関心をもち、快適な住まい方について考えることができるようにする。

(2) 評価規準

季節の変化に合わせた住まい方に関心をもち、快適な住まい方について考えようとしている。

【家庭生活についての関心・意欲・態度】

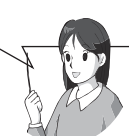



(3) 指導にあたって

本時は、四季の変化に富む日本において、季節の変化に合わせた住まい方の大切さに気付かせ、快適な住まい方について考える学習である。「快適さ」のとらえ方は人それぞれであり、自然を生かした住まい方の大切さに気付かせるために、養護教諭から健康の視点の指導を加えていきたい。

「つかむ・見通す」過程では、これから学習していく思考の深まりを促すために、家庭科で用いる「住まい」「快適」の言葉に再度着目させるようにする。

「調べる・確かめる」過程では、夏と冬の住まいの絵を提示し、それぞれ快適だと思えるところを具体的に探す活動を行う。その際、日常何気なく実践していることにも気付かせるために、方法や理由を言葉で書かせ、伝え合うようにする。

「生活に生かす」過程では、本時の学習を振り返り、これからの暑い季節を快適に過ごすためのわが家の課題を見つけさせるようにする。

時	過程	主な学習活動と教師の手立て・評価					
5	つかむ・見通す	<p>1 前時の快適な住まいについて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「住まい」とは、人が生活するところだよ。 「快適」とは、健康によく清潔で気持ちが良いことだったよ。 「快適な住まい」とは、家族みんなが健康に清潔で気持ちよく生活できる場所だなあ。 	<p>これから学習していく思考の深まりを促すために、家庭科で用いる「住まい」「快適」の言葉に再度着目させる。「快適さ」は、数値でとらえられるものと感覚的なものがあるので、数値でとらえられるものに焦点をあてていきたい。</p> 				
		<p>2 本時のめあてをつかむ。</p> <p>快適な住まいに必要なことを考えよう。</p>					
35	調べる・確かめる	<p>3 夏と冬をイメージして、快適な住まい方の工夫について話し合う。</p> <p>(1) 一人で考える。</p> <p>(2) グループで話し合う。</p> <p>(3) 全体で話し合う。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>夏の住まい方の工夫</th> <th>冬の住まい方の工夫</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> クーラー 扇風機 ござ 緑のカーテン 窓を開ける </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 暖房 こたつ カーベット 厚いカーテン 窓を閉め切る </td> </tr> </table>	夏の住まい方の工夫	冬の住まい方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> クーラー 扇風機 ござ 緑のカーテン 窓を開ける 	<ul style="list-style-type: none"> 暖房 こたつ カーベット 厚いカーテン 窓を閉め切る 	<p>季節の変化に合わせた生活の大切さに気付かせるために、夏と冬の住まいの2つの絵を提示する。</p> 
		夏の住まい方の工夫	冬の住まい方の工夫				
<ul style="list-style-type: none"> クーラー 扇風機 ござ 緑のカーテン 窓を開ける 	<ul style="list-style-type: none"> 暖房 こたつ カーベット 厚いカーテン 窓を閉め切る 						
<p>4 養護教諭の話聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 冷暖房機器にたよりすぎる健康被害について ○ 熱中症について 	<p>冷暖房機器にたよる生活を見直し、自然の力を効果的に活用する方法について考えさせるために、健康の視点から、養護教諭が助言する。</p> 						
5	生活に生かす	<p>5 快適な生活に必要なことは何かを考える。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> すずしさ あたたかさ 風通し 明るさ 整理整頓 そうじ </td> <td> <p>適切な室温・湿度 (暑さ・寒さ)</p> <p>風通し (通風)</p> <p>空気の入替え (換気)</p> <p>明るさ (採光)</p> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> すずしさ あたたかさ 風通し 明るさ 整理整頓 そうじ 	<p>適切な室温・湿度 (暑さ・寒さ)</p> <p>風通し (通風)</p> <p>空気の入替え (換気)</p> <p>明るさ (採光)</p>	<p>日常何気なく実践していることに気付かせるために、また、自分の思いを述べられるようにするために、書く活動とグループ活動を取り入れていく。その際、理由も述べるようにする。</p> 		
		<ul style="list-style-type: none"> すずしさ あたたかさ 風通し 明るさ 整理整頓 そうじ 	<p>適切な室温・湿度 (暑さ・寒さ)</p> <p>風通し (通風)</p> <p>空気の入替え (換気)</p> <p>明るさ (採光)</p>				
<p>6 本時のまとめをする。</p> <p>快適な生活に必要なことは、自然をできるだけ生かし、季節の変化に合わせて、暑さ・寒さ、風通し・換気、明るさを工夫することである。</p>	<p>※ 季節の変化に合わせた住まい方に関心をもち、快適な住まい方について考え、言葉で説明しようとしているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 考えることができた子どもには、自分の家と比べて考えるよう助言する。 ○ 戸惑っている子どもには、ワークシートに印をつけて、理由を考えさせる。 						
		<p>7 本時の学習を振り返り、実践への意欲をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 温度を下げる方法 日をさえぎる方法 風通しをよくする方法 環境にやさしい方法 	<p>快適な住まい方の工夫について、わが家でチャレンジする課題を見つけ、実践への意欲を高めることができるようにする。</p> 